

## 鴨川市の課題解決に向けた連携事業について

連携している組織名：「鴨川医療連携会議」

地域の課題と目標：鴨川市では、高齢化率が 37.3%となっていることから、高齢者の健康維持と生活支援にむけた保健医療福祉サービスにおける連携促進を課題に、2012 年に「鴨川医療連携会議」を発足させた。この会議では、専門職を対象とする研修会、住民を対象とする啓蒙活動、出前講義、公開講座などを開催し、顔の見える連携関係を培ってきたことから、持続可能な連携ネットワーク構築が今後の課題となっている。

課題に向けた取り組み：「鴨川医療連携会議」では、持続可能な安定型多職種連携ネットワーク構築にむけた資料を得るために、高齢者を対象とした医療福祉における職種別連携の実態を明らかにすることを目的に、2019 年 11 月から実態調査を開始する。調査対象者は、市内の医療福祉機関・事業所に就業し、地域連携に関わっている 8 種の専門職（医師・看護師・訪問看護師・薬剤師・社会福祉士・介護支援専門員・介護福祉士/ヘルパー・理学療法士/作業療法士）各 12 名の合計 96 名とし、調査用紙を配布し、郵送法での回収を予定している。